



商工くろいし

編集発行：黒石商工会議所
〒036-0307
青森県黒石市市ノ町5-2
TEL 0172 (52) 4316
FAX 0172 (53) 3875
URL <http://www.k-cci.or.jp/>
E-mail kuroishi@k-cci.or.jp

会員よし！
会議所よし！
黒石よし！
三方よしで活力ある
まちづくり！



写真：『私の雪だるまコンテスト2012』黒石市長賞(左上)、黒石商工会議所会頭賞(右)、黒石観光協会会長賞(左下)

年頭所感



黒石商工会議所
会頭 村上 信吾

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、心から新春をお祝い申し上げます。昨年は記録的な大雪や残暑など一次産業の甚大被害のみならず、市民にとっても異常気象に振り回された一年となりました。今冬も12月の記録的な大雪から2年続きの大雪かと心配して止みません。

さて、昨年の国内においては、欧州債務問題の長期化や尖閣諸島の領土問題、電力エネルギー問題がマスメディアを賑わし、また、長期化するデフレ脱却の不透明感から個人消費は依然として低迷状況が続きました。

当地域の観光面では、紅葉観光スポットとして認知された小嵐山・中野もみじは、紅葉のライトアップ効果など観光客は年々増加傾向にあり、また、中野川の川床設置は他市町村や観光エージェントに効果的な情報発信となり、新

しい観光資源に加わった嬉しい話題がありました。

一方、商況面では観光事業関係の売上は東日本大震災の二次被害・風評被害の影響から依然として回復基調には至っていない状況でもありました。また、商店街は個人消費低迷の煽りを受けるなど地域の疲弊は進んでいることが窺え、会員企業と商工会議所との連携強化の必要性を痛感しております。

こうした中、地域の商工会議所としてさくら祭りや黒石よされ、こみせまつりなど四季を通じた一連のイベントが無事成功裏に進められたことは、行政のご支援はもとより市民の方々のご協力あってのことと厚く感謝申し上げます。

今年は、会員企業の経営安定のための雇用促進事業やマル経資金などの情報提供や経営改善に向けた相談業務の充実を積極的に進めるほか、1000事業所へ会員拡大を目指していくこととしております。

また、大黒跡地活用など課題も山積しておりますが着実に進展させるべく役職員一同頑張っていく所存でありますので、会員皆様方のご理解・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会員皆様方のご健康と事業のご繁栄を祈念し新年のご挨拶といたします。

2013新春会員大会は、1月23日(水)開催！

今年の黒石商工会議所「新春会員大会」は、1月23日(水)、グリーンパレス松安閣にて午後5時から開催いたします。永年勤続優良従業員表彰に続いて行われる記念講演では、あんよ・せらびー代表 フットセラピスト 境江利子氏に、「心と身体の元気！！」のテーマでご講演いただきます。その後の懇親パーティーでは、アトラクションとして、パパフラ青森 フラ&タヒチアンダンスを披露。懇親パーティーの会費はお一人様3千円。お楽しみ抽選会もご用意しておりますので、事業所の新年会も兼ねて皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

●お問い合わせ 黒石商工会議所 TEL:52-4316

津軽くろいしみんなの雪だるま2013

黒石商工会議所では、2000年から市民総参加のもと、雪だるまづくり運動を展開し、夢のある元気な黒石を内外にアピールすることに努めてまいりました。

今年は「津軽くろいしみんなの雪だるま」とタイトルを一新し、製作期間(2月1日～11日)を設けることで天候や雪質に左右されずに、十分に雪だるまづくりを楽しめるように設定しました。また、2月10日には黒石市子ども会育成連合会主催による第36回黒石市「雪のうまい利用コンクール」も各地区で開催され、なお一層連携し、これまで以上の盛り上がりを図りたいと考えております。

●お問い合わせ 黒石商工会議所 清藤・西沢 TEL:52-4316



謹んで新年のお慶びを申し上げます。 2013年正月 黒石商工会議所

顧問 黒石市長 鳴海 広道	衆議院議員 木村 太郎	青森県議会議員 高橋 憲	黒石市議会議員 中田 博文	黒石商工会議所名誉会頭 横山 園吉	黒石商工会議所専務理事 中村 勝治	元黒石商工会議所専務理事 佐藤 哲郎	参与 株青森銀行黒石支店 株みちのく銀行黒石支店 青い森信用金庫黒石支店 東奥信用金庫黒石支店 青森県信用組合黒石支店 元黒石商工会議所専務理事 佐藤 忠征	元黒石商工会議所専務理事 桜庭 司	元黒石商工会議所事務局局長 三上 謙二	会頭 村上 信吾	副会頭 新岡 常雄	工務理事 藤岡 英磨	専務理事 藤 和明	常議員 佐藤 光正 館 文四郎 鳴海 伸郎	館 文四郎 鳴海 伸郎	中村 海	船中 幸正	福士 収蔵	長内 俊蔵	石沢 照俊	三上 武代	中村 慎一	溝部 裕成	小田 健一	須藤 慎司	扇谷 重昭	佐藤 光正																										
顧問 小中 阿六 中村 保生	監事 阿保 順一	島田 寿充	議員 盛井 敦一	議員 宮本 順一	議員 伊藤 秀忠	議員 千原 美志	議員 北山 泰雄	議員 横山 正行	議員 宇野 博	議員 西谷 雄	議員 坂田 陸	議員 鳴海 慎一	議員 三浦 英真	議員 木村 悦子	議員 高井 子	議員 松田 浩	議員 濱田 睦	議員 石澤 昭	議員 鈴木 幸	議員 三上 伸	議員 葛西 信	議員 寺山 孝	議員 佐藤 正	議員 佐藤 秀	議員 三浦 均	議員 徳田 均	議員 加藤 均	議員 齋藤 均	議員 相澤 均	議員 三原 均	議員 山田 均	議員 北山 均	議員 山田 均	議員 松田 均	議員 高井 均	議員 木村 均	議員 三浦 均	議員 小田 均	議員 須藤 均	議員 扇谷 均	議員 佐藤 均	議員 館 均	議員 鳴海 均	議員 船中 均	議員 福士 均	議員 長内 均	議員 石沢 均	議員 三上 均	議員 中村 均	議員 溝部 均	議員 小田 均	議員 須藤 均	議員 佐藤 均

※平成24年12月11日現在

●平成24年度黒石よされ収支決算のご報告

昨年11月29日に、黒石市産業会館で開催された黒石よされ実行委員会(実行委員長 村上信吾)の通常総会において、平成24年度の収支決算が承認されましたのでご報告いたします。

自 平成23年10月1日
至 平成24年9月30日

収入の部 22,015,976円也
支出の部 22,015,976円也
差引残高 0円也

科 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘 要
寄 付 金	10,000,000	7,877,000	△ 2,123,000	市内543件 市外129件
協 賛 金	1,000,000	497,603	△ 502,397	市内374件 市外3件
補 助 金	10,150,000	10,150,000	0	黒石市より
広 告 収 入	1,500,000	1,005,000	△ 495,000	組踊り大賞広告・うちわ広告
雑 収 入	100,000	132,319	32,319	開会式祝儀他
繰 越 金	0	442,424	442,424	
よされ特別引当金取り崩し	0	1,911,630	1,911,630	
合 計	22,750,000	22,015,976	△ 734,024	

科 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	摘 要
総 務 費	13,030,000	13,147,992	117,992	
庶 務 費	1,900,000	1,938,849	38,849	開会式他
広 告 宣 伝 費	3,100,000	3,888,653	788,653	うちわ・ポスター・スポットCM他
設 備 費	7,000,000	6,613,982	△ 386,018	やぐら・音響・照明他
会 議 費	50,000	15,600	△ 34,400	各協議会との意見交換会
報 償 費	30,000	17,200	△ 12,800	寄付廻り関係費
印刷製本費	200,000	218,330	18,330	寄付金・協賛金お願い状他
通信運搬費	250,000	183,680	△ 66,320	切手・ハガキ・郵送料
交 際 費	50,000	0	△ 50,000	
消 耗 品 費	200,000	71,698	△ 128,302	コピー使用料他
使 用 料	50,000	0	△ 50,000	
事務委託費	200,000	200,000	0	黒石商工会議所・黒石観光協会
委 員 会 費	6,700,000	6,297,984	△ 402,016	
組踊り委員会	4,100,000	3,883,489	△ 216,511	舞台設置費・会場費等
廻り踊り委員会	500,000	513,296	13,296	リーダー踊り子関係他
流し踊り委員会	1,700,000	1,595,999	△ 104,001	流し踊り表彰関係他
企画委員会	300,000	205,200	△ 94,800	イベント関係費他
交通・防犯委員会	100,000	100,000	0	黒石市交通指導隊へ
委 託 費	470,000	470,000	0	大川原火流し・よされ学校
寄付分担金	2,100,000	2,100,000	0	黒石青年会議所(黒石ねぶた祭り)
よされ特別引当金	400,000	0	△ 400,000	本年度分
予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
合 計	22,750,000	22,015,976	△ 734,024	

LOBO調査[商工会議所早期景気観測調査]

業況DⅠは、悪化。先行きは慎重な見方が続く

2012年12月 調査結果のポイント

- ◇12月の全産業合計の業況DⅠは、▲34.1と、前月から▲3.0ポイントの悪化。先月中旬からの円安傾向は好材料であるものの、中国向け輸出低迷が続く製造業は幾分回復するも低水準で推移。また、今冬の賞与減少に伴う個人消費の冷え込みによる影響に加え、商品の多様化や低価格化により新規顧客の取り込みを図る大手チェーン店の攻勢に晒されている小売業・飲食業など、地域の中小企業を取り巻く環境はさらに厳しさを増している。
- ◇先行きについては、先行き見通しDⅠが▲35.1(今月比▲1.0ポイント)と、ほぼ横ばいの見込み。最近の円安・株高傾向に加え、政府による経済対策や中国経済の回復に対する期待感がみられるものの、電力料金の値上げ、所得の減少に伴う消費マインドの低迷など、楽観できないことから、先行きは慎重な見方が続く。

DⅠ値(景況判断指数)について
DⅠ値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向きを表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。
※DⅠ=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)
【業況・採算:好転-悪化】、【売上:増加-減少】
※LOBO調査ホームページ > <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html>



●言い値で部品を製造販売する『東海バネ工業』

大阪市に「東海バネ工業」という社名の中小企業がある。従業員数は、全社で90人。生産品目は社名のとおり各種ばねである。ここまでは全国に約3000社ある、どこにでもあるような普通の「ばね屋」と思われるかもしれないが、その実体は、これがばね屋かと驚くべき企業である。

その代表的な特徴を2点述べると、第1は、同社の生産品目が極端な多品種・微量のばねであることだ。ちなみに同社が生産するばねの平均ロットは、3個から5個。しかも、その品種は年間ベースで3万アイテムである。つまり毎日が新しい仕事なのだ。

そして、第2の特徴は、取引先の多さだ。年間取引先は約900社。最大の取引先でも依存度は全体のわずか1%程度である。まさに「多品種・微量」独立型の中小企業なのである。

筆者はこれまで多くのモノづくり中小企業を訪問調査してきたが、これほど多くの企業と対等に取引している企業も珍しい。その業績もすこぶる好調で、昭和19(1944)年の設立以来、一度も赤字を出していないばかりか、近年では利益率もほぼ10%以上である。ちなみに、全国の同業者は約75%が赤字、売上高経常利益率が5%以上の企業はほとんど見当たらない。もとより、こうした盤石な経営は当初からではない。それどころか、現社長である渡辺良機さんが請われて社長に就任する前までは、どこにでもある下請け型のばね工場だった。好・不況や円高のたびに繰り返される取引先からの理不尽な要求をなくさない限り、自分のもとより、従業員やその家族の幸福は創造できないと判断し、視察したドイツのばね屋をモデルに、時間をかけ、今日の経営体制をつくり上げたのである。つまり、それを実現するために人財教育と福利厚生を充実させ、技術力を高めるとともに、他社がやりたがらないスーパーニッチの市場にターゲットを絞りを絞ったのだ。同社の製品は、全て高度な技術がなければ開発生産できないばねであることに加え、数は微量、かつ短納期対応であり、まさに「鬼に金棒」といった企業である。

渡辺社長に「単価はどうやって決めているのですか？」と質問すると、答えは「こちらの言い値です」だった。「高いと言われ、値引きを要請されたらどうしますか？」と聞くと、答えは「では、よそでやってもらってください、と瞬時に断ります」とまで言い切った。質問を変え、「仕入れ先・外注先への発注単価はどうしているのですか？」と尋ねると、渡辺社長は平然と、「提出された見積書どおり支払いをします。自分が散々嫌な思いをしてきたことを、外注企業にやるわけがありません」と答えた。

法政大学大学院政策創造研究科
教授 坂本 光司/さかもと・こうじ

1947年東京生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、2008年4月より法政大学大学院政策創造研究科(地域づくり大学院)教授、同静岡サテライトキャンパス長および同イノベーション・マネジメント研究科兼任教授。他に、国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。専門は中小企業経営論・地域経済論・産業論。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』(あさ出版)、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』(かんき出版)など。



●青色申告会実務セミナー 『源泉所得税実務のポイント』



企業が事業活動をしていくうえで関係してくる税金には様々なものがあります。そのうち源泉所得税について、平成25年1月1日から平成49年12月31日までの間に生ずる徴収の際に、復興特別所得税を併せて徴収しなければならないこととされました。

そこで本セミナーでは、給与所得をはじめ退職所得、報酬等にかかる源泉徴収額についてわかりやすく解説いたします。ぜひ実務担当の方には、ご参加下さるようご案内いたします。

- 日 時 平成25年1月22日(火) 13:30~15:30
- 場 所 スポカルイン黒石2階大会議室(黒石市ぐみの木3-65)
- 講 師 黒石税務署 法人課税部門担当官
- 受講料 (会員)無料、(非会員)500円 ※いずれもテキスト代含む
- 定 員 80名

●お申し込み・お問い合わせ
黒石商工会議所 相談課 清藤 TEL:52-4316



●第25回全日本すぐり回し選手権大会参加者募集!



下記の日程でイベントが開催されます。ただいま参加者募集中です。多数のご応募お待ちしております。

- 日 時 平成25年2月9日(土) 10:00~13:30(受付9:00~10:00)
- 場 所 黒石市横町「旧ソフニ書店跡地」
- 参 加 料 無料(参加者全員に記念品あり)
「すぐり」は、直径15cm以内のもの(貸出用すぐりあり)
- 申込締切 平成25年2月6日(水)までお申込みください。

●お申し込み・お問い合わせ
黒石商工会議所 相談課 山口友幸 TEL:52-4316



●献血事業アンケート結果報告

厚生福祉部会では、クラシックカーinこみせの開催に合わせて献血事業を行い、部会員の業種に関するアンケート調査を実施しました。その結果について当会議所ホームページにて公開しています。ご協力ありがとうございました。
<http://www.k-cci.or.jp>



●画面にタッチ!かんたんタブレット

近日、鞆NTTドコモ東北からインストラクターをお迎えし、基本的な性能や使い方など初学者向けの研修会を開催します。タブレット端末を貸出しますので、気軽に足を運び学習することができます。詳しくは、タブレット端末情報サイトをチェック!
<http://www.k-cci.or.jp/tablet>
●相談課 小野智恵 TEL:52-4316



●くろいし食と文化のものがたり

1月12日から2月11日まで、黒石市中町・横町商店街でイベント開催中です。
■文化 蔵出し骨董通り
※商品入替のため2/1~4休み
■食 厳選うまいもの市(3日間限定)
1/25~27 10:00~16:00
会場:津軽黒石こみせ駅
●横町十文字まちそだて会
Facebookページは二次元コードからアクセス!



●2月3日「元祖旧正マッコ市」

黒石商店街協同組合が主催するマッコ市が、市内商店街・郊外商店等で午前5時から開催されます。抽選賞品に宮古海産物を使用する他、おしるこ・餅入りつゆやきそば・ホットアップルジュース・八戸復興支援感謝イカボン等の無料ふるまいも実施。ぜひお出かけ下さい。
<http://www.k-cci.or.jp/syotengai/>

